

平成28年度 第1回熊本市立図書館協議会

－ 議事録 －

日時 平成28年8月22日（月）

午後3時30分～

会場 熊本市立図書館 2階 集会室

《出席者》

■熊本市立図書館協議会委員

山中 守 委員 (会長)

加藤 貴司 委員

原 輝智 委員

吉永 千草 委員

下城 明美 委員

小田 栄一 委員

以上 6人

《欠席者》

吉村 純一 委員

小山 昭則 委員

以上 2人

傍聴者 なし

《出席者》

■熊本市側

高守 熊本市立図書館長

(事務局)

・池田館長補佐 (熊本市立図書館)

・清田主幹兼主査 (")

・井手主幹兼主査 (")

・成松主査 (")

・福田主査 (")

・松里参事 (")

以上 7人

平成 28 年度 第 1 回熊本市立図書館協議会 議事録

- 1 開会
- 2 図書館長挨拶
- 3 委嘱状交付
- 4 委員・職員紹介
- 5 役員選出
- 6 会長挨拶
- 7 議事
議事録承認
議題 1 熊本地震に関する報告
議題 2 平成 27 年度 事業報告
議題 3 平成 28 年度 事業説明
議題 4 その他
- 8 その他
- 9 閉会

挨拶・委嘱状交付・委員紹介・役員選出・会長挨拶は省略

議事録について報告（前回の議事録は確認・修正を経て、熊本市立図書館のホームページ上に公開されていることを事務局から報告）

各委員 異議なし

【議事】

議題1 熊本地震に関する報告

（事務局より説明）

委員 何か質問はありませんか。

委員 地震に関する報告について、プラザ図書館は1,302冊の被害があったとのことですが、他の図書館の本の被害について、全市的に状況はどうですか。

事務局 特に大きな被害の報告は挙げておりません。

委員 東部公民館図書室や龍田公民館図書室の被害状況はどうでしょうか。

事務局 施設の被害は報告があがっておりますが、使えなくなった資料など本の報告はありませんでした。水漏れによる被害が多かったようです。プラザ図書館では、スプリンクラーの水に天井の中の断熱材に含まれる薬品が混じったものが流れ、その水に濡れた本が固まってしまったと報告を受けました。

委員 了解しました。

委員 本は割れることがないため、屋上タンクが倒れたり、スプリンクラーが誤作動したりして水濡れしたというのが被害として大きいようですね。ただし、そういったものは本当の原因がないから、難しいですね。

委員 P5の3、支援状況の菱形小学校に派遣したおはなしボランティアが「植木図書館」となっていますが、「植木図書館職員と植木おはなしの会のボランティア」に訂正していただけますか。

事務局 ご指摘のとおり修正します。

議題2 平成27年度事業報告

(事務局より説明)

委員 市立図書館の平成27年度取り組み状況報告について、意見や質問があればお願いいたします。

委員 前回の報告済の事項になりますが、時間延長をした植木図書館の利用者数は増加した、ということですか。

事務局 前年比で877人の増加で3.6%増、貸出冊数で2,087冊、2%の増となっております。

委員 開館時間を延長した効果の計り方は難しいと思いますが、どのように計っていますか。延長したことによって当然利用者が増加すると思いますが、職員の勤務時間の延長の関わりはどうなっているのでしょうか。

事務局 職員の勤務時間をずらすことで対応しているので、延長に伴う超過勤務は発生しておりません。費用対効果の判断材料として出てくるのは、燃料光熱費や維持管理経費など別の側面で影響が出るぐらいと考えております。

委員 今回、図書館の開館時間を延長するにあたり、そこがポイントになってくると思います。個人的には、職員に負担が無ければ、利用者にとっては図書館の開館時間が長いほどいいと考えております。

委員 1時間延長したぐらいでは効果はそこまで変わらないと思っていましたが、実際の数値を見ると利用者数の増加など、ある程度の効果が見られたことが分かりました。これらの伸びの中で、貸出冊数の伸びが少ないのはどうしてでしょうか。

事務局 まず図書館の開館時間が延長したことで利用者の増加など大きな効果が出ましたが、図書館の施設の改修など環境整備もしたことも要因の1つになっていると考えております。貸出冊数が微増なのは、貸出を利用しない利用形態、例えば調べもの学習の利用者が増えてきたことが考えられます。

委員 植木図書館と本館の利用数の差は、利用者の働く形態が違うからだと感じました。植木図書館の利用者はサラリーマンだけでなく、農家の方の割合が多いので1時間延長しても本館ほど伸びなかったと思われます。地域差がありますが、開館時

間を 1 時間延長したことで、今まで利用することが出来なかった人たちが利用することが出来るようになったため、植木図書館でも本館でも効果はあったと考えます。

委員 人数だけでなく、年齢層や男女比が出れば、もっと内訳の詳細が内容比較できて良いと思うのですが。

事務局 図書カードを基にしてどこまで分析できるか分かりませんが、次回報告したいと思います。

委員 どういう人達の利用が増えたかが分かったら、図書館職員のモチベーションが上がると思います。

その他、質問はございませんか

委員 BMとはなんのでしょうか。

事務局 移動図書館のことです。本館は、全部で 22ヶ所のステーションをバスで巡回しています。ちなみに、城南は 19ヶ所、植木は 39ヶ所のステーションがあります。決まった曜日・時間に移動図書館が巡回しています。

委員 分類ごとの貸出冊数で、多い順の 3 番目に 5 類の技術があります。F の小説が多いのはわかるのですが、5 類の技術が多いというのはどういうことでしょうか。

事務局 5 類の技術は、500 技術工学・510 土木工学・520 建築学などがありますが、この中の 590 番台が家政学・生活科学という分類になっておりまして、料理のレシピ本など、生活に関するような実用書が多く含まれるため、5 類の貸出が多いと思われる。

委員 料理関係などの実用書と理解したらよろしいでしょうか。市立図書館ならではのですね。大学には無い特色です。

委員 今の若いお母さんたちはよくそういう本を借りられます。手作りおもちゃの作り方などの本を借りて、作ったりするのがはやっているようです。

委員 小学校でも女の子が料理本を借りていますよ。

委員 地域経済の振興とも結びついていくような話ですね。料理本を地域の農産物と組み合わせたら等、工夫を考えられるのではないのでしょうか。
図書館が本だけでなく、料理と、地域の特産品と健康等を組み合わせていけば、アクティブラーニングになっていきます。図書館がそれを作り出す場になっていくのではないのでしょうか。

委員 移動図書館に来る人たちは割りと農村地域の方が多く、読書活動とともに農産物加工などに熱心な人が多いようです。

委員 そういう、ちょっと芽が出たものを図書館事務局で結びつけてあげる展開の方向がこれから必要ではないのでしょうか。情報を作り出す図書館、ということです。
「イノベーション」は「技術革新」と訳すから、日本人は躊躇してしまい、新しいことができないんですが、「イノベーション」とは基本的に「何かの組み合わせ」と考えたらいいいですよ。

例えば、若い母親が料理の作り方を調べようと思って図書館に来ると、隣に新しい食材が紹介してあったので、使ってみる。それが新しいイノベーションになりますよね。こういう、新しい組み合わせの事例を作っていく、または新しく情報を作り出していくのがこれからの図書館の姿ではないのでしょうか。

議題3 平成28年度事業説明

(事務局より説明)

委員 平成28年度事業説明について意見や説明があればお願いします。

委員 教育センター内に教員向けライブラリーがあり、数年前、時間延長になりまして、大変有難かったです。それまで、学校が終わってから行っても、資料を閲覧することが出来なかった。しかし延長して、読みたい資料が読めるようになりました。時間延長は大変と思いますが、頑張ってください。

委員 秋まつりが盛りだくさんで喜ばしいと思います。赤ちゃんとパパママ講座についてお願いがあります。秋以外でも読み聞かせの重要性を伝える講座をして欲しいのです。以前、福音館書店の方が講師となり「なぜ読み聞かせが必要か」という内容のお母さん向けの講演会を聞いたのですが、とても心に響いて、涙ぐんでしま

いました。改めて読み聞かせの重要性を知ること、仕事から帰って疲れているときに子どもから何度も「読んで」とせがまれても、楽しい気持ちで読んであげられた経験から、できれば、そのような講演会も組み込んでもらえると嬉しいと思います。

事務局 秋の事業には間に合いませんが、別立てでやるのか、来年度から取り入れるのか検討していきます。

委員 読み聞かせに関わらず、「なぜ本が必要か」というような講演会を開催してもらいたいです。

委員 読み聞かせの読み手を養成する講座では「なぜ読み聞かせが必要か」と学校の保護者の方々に講演することもありましたが、改めて乳幼児のお母さん方にすることはなかったと思います。

委員 図書館だけでは負担が大きいと思うので、大学と一緒に取り組むのもいいと思います。尚絅大学は児童対象の講座について、たくさんのノウハウがありますし、その他の大学でも幼児教育の専門の学科もありますので、そういうところと一緒に取り組むというのもこれから考えられては如何でしょうか。委員さんの指摘をどう実現していくか、図書館単体ではなく、他の機関と協力して実現していった欲しいと思います。

委員 予算は震災被害分と別枠の扱いになっているのですか。

事務局 資料は当初予算で比較しています。震災関連の被害額は別途補正予算を計上しています。

委員 その他、質問等はございませんか。

議題 4 その他

委員 添付資料のリーフレットの『～のための 30 冊』についてお尋ねですが、学校の読み聞かせボランティア等には配布してはもらっていないのですか。これがあれば、図書室にこういう本があるということがわかり、読み聞かせのときにも役立つと思います。学校の読み聞かせのボランティアのグループにも同じ資料を提供

するといいいのではないかと思いました。

事務局 生徒には全て配布していますが、読み聞かせボランティア等は人数等を把握していないので、現時点では配布しておりません。今後、学校に情報提供していきたいと考えます。

委員 今後は学校だけでなく、ボランティアさん等の横の関係を築いていくことが重要になると思います。

委員 読み聞かせした本が学校の図書室にあれば、生徒が図書室を利用する割合も増えていくと思います。

委員 横の連携に関連すると思いますが、10/28 砂取小学校で第 45 回熊本県学校図書館研究大会を開催します。2年に1回の開催です。これは小学校だけでなく中学、高校の学校図書館司書の方々が集まって行う研究大会です。この準備もあって、最近改めて学校司書と親しくなり、かなりきちっとしていらっしゃることが分かりました。これから学校図書館も、学校だけでなく、PTAや他の色んなところと繋がっていかねばならないと考えており、学校以外の方にもご案内しているところです。是非図書館の方にも来ていただきたいと思います。この案内も、まだどこに配布したらいか、手探り状態です。皆様にも参加していただきたいと思いますので、ご案内申し上げます。

委員 横のつながりはとても大事です。以前、同様の委員大会に、該当委員以外の地域全体に呼びかけたところ、参加してくれる人が増えたという経験があります。

委員 こういう場に気軽に行ける雰囲気ができきたらいいでしょうね。大学でも「地域連携」を進めていますが、なかなか進んでない状態です。こういう場を利用して、他の機関と出会い、繋がっていけばいいですね。

他に何かございませんか？

では、会長の役割は終了して、事務局にお返しします。

終了